



湯建第141号

平成19年5月1日

国土交通省 道路局長 様

湯沢市長 鈴木俊夫



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

平成19年4月2日付国道企第114号により依頼ありました標記の件について、  
別紙のとおり回答します。

【別紙】

中期的な計画の作成にあたって

■地域幹線道路の整備

当地域においては、国道13号が南北に縦断し、それと並行して高規格道路の「湯沢横手道路」が整備されています。しかし、新庄・湯沢間においては未着手区間があり、市が位置する県境における交流は国道13号、国道398号及び国道108号といった地域幹線道路によって成り立っていると云わざるを得ません。

国道13号が通過する県内各市においては、これまで市街地における交通渋滞の解消、4車線化、バイパス化あるいは冬期交通確保などを要望し、事業化に取り組んでいただいております。市民一同、感謝しているところです。

とりわけ、当市における国道13号は、市街地を通過することから、市民にとっての通勤通学あるいは通院といった日常生活に欠くことができない道路となっています。そのような中、冬期の歩行者空間確保が重要な課題となってきましたが、地下水等を利用しての歩道無散水消雪施設の設置によるバリアフリー化を促進していただき、市民は大いに喜んでいただいております。また、未整備区間もあることから、今後も継続した事業展開をしていただけるよう切望します。

■雪に強い道路整備

今冬はこれまでにない暖冬でしたが、一昨年は昭和48年豪雪以来の大雪に見舞われ、交通確保には大変難儀したところです。当市においては、歩道のバリアフリー化や流雪溝整備、防雪柵の設置など雪寒事業を実施し、市民参加により克雪に取り組んでいるところです。

しかしながら、未だ人家連担地区における消流雪施設の整備や歩道融雪などに要望が強く、今後も雪につよいまちづくりのため財源確保に配慮して下さるようお願いいたします。

■災害に強い道路整備

年が明けての2月17日に湯沢市～宮城県大崎市を結ぶ国道108号（鳴子温泉）で土砂崩れが発生し、1ヶ月以上におよぶ通行止め、冬期閉鎖の県道を除雪しての迂回路確保といった状況に遭遇しました。宮城、山形両県と接する当市においては、連絡する道路はいずれも急峻な山々を縫うことから、これまでも危険箇所については対策工を実施していただいておりますが、近年の異常気象や地震の発生などを考えると、より一層の対策、整備をお願いするものです。

## ■生活に身近な道路整備

地域内における日常生活に必要な道路網の整備については、県道や幹線市道においても、狹隘、急坂あるいは急カーブといった危険な区間が存在することから、これらの生活幹線道路の整備が急がれます。

また、集落内の生活道路の整備率も低く、緊急車両はもちろん、老人福祉サービスの車両が入れない、冬期においては除雪車による作業もできないような狹隘な道路が多くあり、市民との対話集会等において拡幅整備が強く要望されているところ です。

地域の身近な課題に対応できる「地方道路整備臨時交付金事業」などを活用しながら整備を進めてはおりますが、道路整備に関する支援制度の一層の充実と財源確保により、市民生活の向上が図れますよう特段の御配慮をお願いするものです。

## ■高規格道路の整備

自動車交通への依存が大きい当地域にとって、道路網、特に高規格幹線道路や直轄国道の整備を図ることは、地域間の交流や産業、経済発展のためにも最も重要かつ緊急の課題であります。

湯沢雄勝地域は、山形・岩手・宮城三県の県境に位置し、自然景観、温泉、地場産業、伝統芸能等豊かな観光資源を有し、大きな開発の可能性が潜在しています。

このような中で、昨年8月に須川インターが開通したことにより、栗駒国立公園を含むエリアで、日本三大霊地の川原毛地獄や温泉及びキャンプ場など、地域を代表する自然が豊富で集客力に優れた観光地を連絡する重要なインターとなっており、地域住民共々心から感謝しているところ です。

しかしながら、新庄・湯沢間において未着手区間となっている「新庄北道路から主寝坂道路」間、「主寝坂道路から雄勝」間を高規格幹線道路としての機能を一日も早く発揮させるため、早期に事業化を図ることをお願いするものです。

都会と地方の格差が広がっていることを、身を持って体感している市民にとって、高速道路を初めとした高速交通網の整備は悲願であり、国が責任を持って取り組むべき最重要課題だと思います。

都市と地方の均衡ある発展のためには広域交流が一層重要であり、高速交通網の早期実現を市民が期待しているところですので、よろしくごお願い申し上げます。

## ■街路事業の促進

本市における街路事業は、平成15年度に開催された第15回全国街路事業コンクールにおいて3・4・12旧国道線（湯沢市大町工区）が「全国街路事業促進協議会会長賞」を受賞するなど、住みよく個性的で魅力あるまちづくりを推進しています。

各商店街においては「まちづくり検討委員会」を組織して意志統一を図り、街路事業と併せて商店街近代化事業を実施するなど、商店街の活性化に取り組んでいるところです。

本市における重点施策事業として、JR湯沢駅周辺開発計画で都市計画道路整備を計画しておりますが、地方都市中心市街地の街路事業促進のため、財源確保に特段の配慮をお願いします。